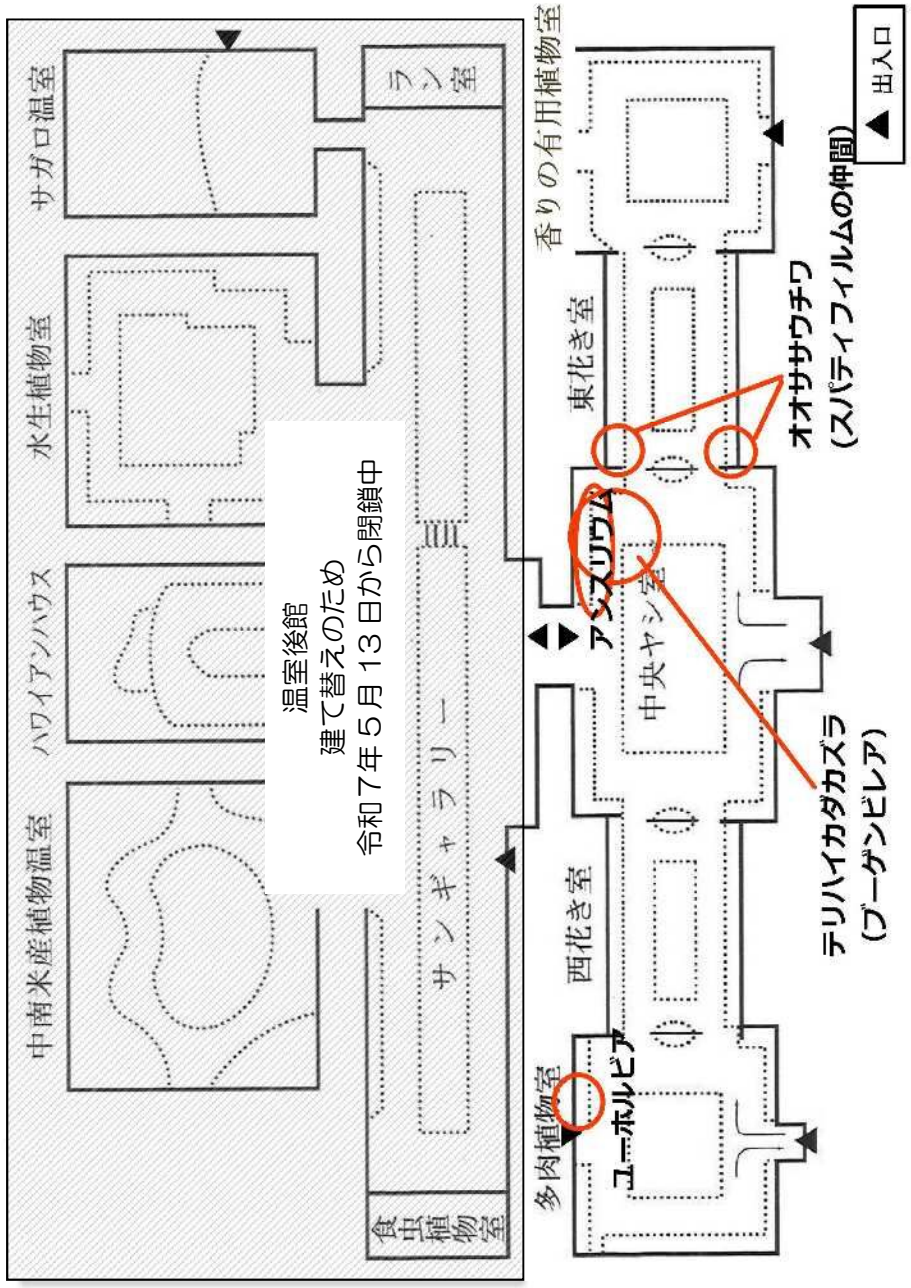


2008 年４月発行　2025 年５月改訂　名古屋市東山植物園

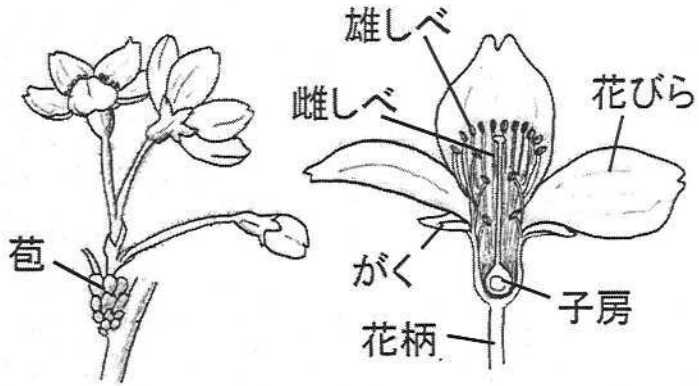
東山植物園セルフガイドシート26　**植物園たんけん隊**

花びらと思いきや

＿＿月＿＿日　なまえ＿＿＿＿＿＿＿＿

裏にある地図を見ながら歩き、植物を観察して、答えを探そう。

図は、サクラの花の構造です。



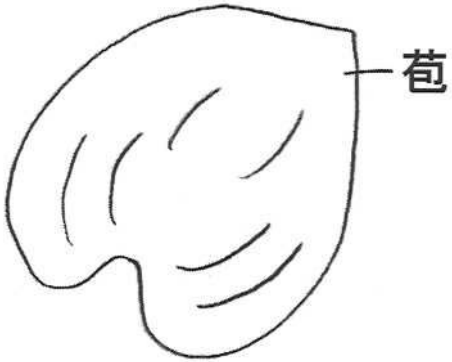
花を構成している花びら（花弁）、がく、雄しべ、雌しべ（子房も含む）は、葉の変形したものと考えられています。

花びらのほかにも、美しく化けている葉の仲間があります。苞（ほう）（苞葉）です。上の図では、苞は小さく目立ちませんが、ハナミズキやヤマボウシ、ドクダミ、ハンカチノキ、ミズバショウ、ムサシアブミ、ブーゲンビレア、観葉植物のスパティフィルム、ユーホルビア、ポインセチアなど、苞が目立つ花はたくさんあります。

〇ここでは、苞に包まれた本当の花はどんな形をしているのか、観察してみましょう。雌しべや雄しべはあるのかな？花びらはあるのかな？さあ、どうでしょうか。図の中に花を書いてみましょう。

スパティフィルムまたはアンスリウム（サトイモ科）

大型の苞は、仏炎苞（ぶつえんほう）と言います。花の集まった穂状のものは、肉穂花序（にくすいかじょ）といいます。



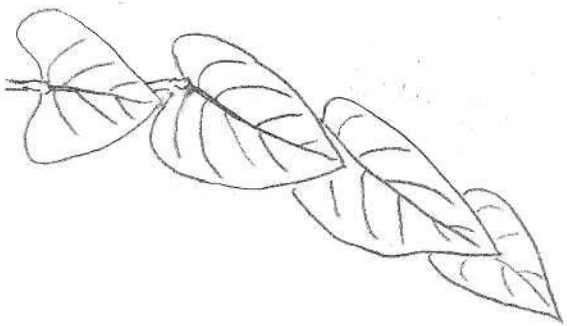
ブーゲンビレア（オシロイバナ科）

花は１枚の苞にひとつです。

苞が３枚あるので、その隣にある小さな白い花は３個ついています。

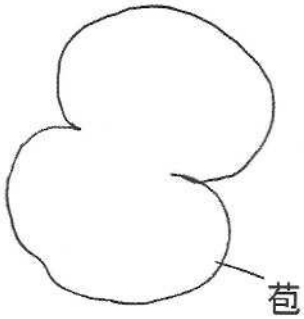
コエビソウ（キツネノマゴ科）

朱色の苞（若い時は黄緑色）がうろこ状に重なって、エビのように見えます。苞から突き出しているのが花。



ユーホルビア（＝エウホルビア）
（トウダイグサ科）
「黒摩利支天くろまりしてん」
「ミドリサンゴ」など

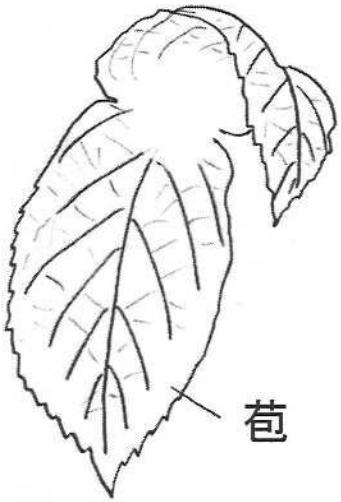
とげがあるので気をつけましょう。苞が椀状（杯状）なので、椀状（杯状）花序といいます。



〇このように見てみると、苞は、花を抱いている葉だとわかります。

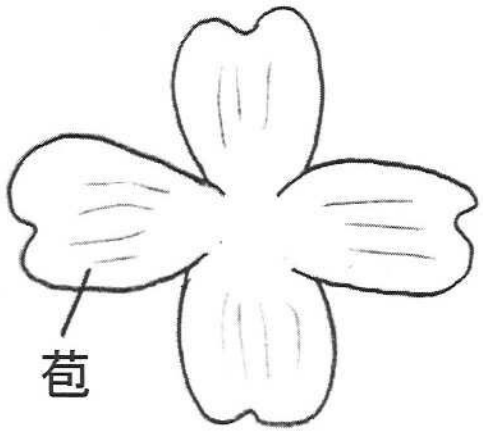
〇今が４月下旬から５月上旬なら、こちらも観察してみて

ハンカチノキ
（中国産植物園林にあります）



真ん中の丸いものの中に雄花の集まったものと１個の雌花があります。

ハナミズキ
（アメリカ産植物見本園にあります）



真ん中に小さな花が集まっています。つぼみのものもあります。